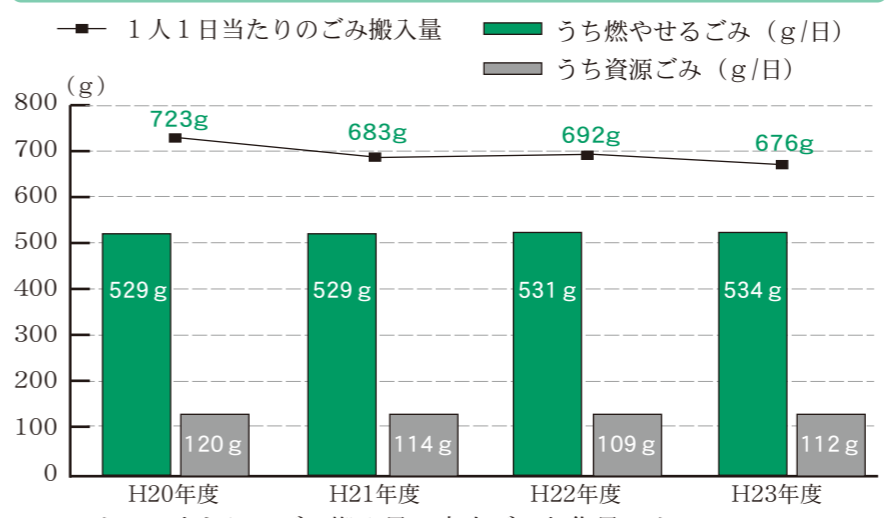


6月 は 環境月間 です

あなたは環境にやさしい行動を
実践していますか？

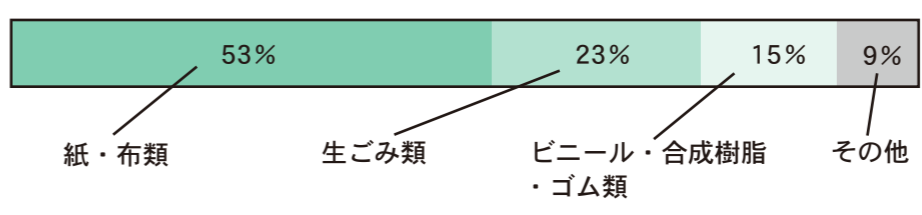
6月5日は環境の日です。これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。これを受けて日本では1991年から6月を「環境月間」と定めて、全国各地で環境に関する行事や啓発活動を行っています。
自然豊かな北秋田市と美しい地球を子孫に引き継いでいけるよう、一人一人が環境問題に目を向け、みんなで環境に優しい行動を実践していきましょう。

クリーンリサイクルセンターへの受入実績（1人1日当たり）



※1人1日当たりのごみ搬入量=家庭ごみ収集量÷人口÷365日
 《参考》1人1日当たりのごみ排出量 (g/人日) 【平成22年度実績】
 全国平均 697 (g/人日) 秋田県平均 689 (g/人日)

平成23年度 燃やせるごみの中身の割合



「ごみの減量化に更なるご協力を」
 ごみの減量化が叫ばれている中、北秋田市でも、家庭ごみ総量は平成18年度をピークに減少傾向となっています。ところが、家庭ごみを種別毎に見てみると「燃やせるごみ」が増加する一方で「資源ごみ」が減少しています。「燃やせるごみ」は焼却後に残った灰を埋立しますが、埋立する最終処分場の残余容量は年々減少しているため、焼却するごみの量を減らしていくことが必要です。今後もごみの減量と分別にご協力をお願いします。
 ごみ処理費用は増加傾向にあり、平成22年度のごみ処理費用は約3億7千万円（資源売却後）、市民一人当たり年間約1万円となっています。

使用済小型家電の回収にご協力ください

電気や電池で動く小型家電製品には、レアメタルなどの産業に必要な金属がたくさん含まれています。北秋田市では県と連携し、レアメタルのリサイクルのため、使用済小型家電（IIこでん）の回収試験を実施しています。次の施設に回収BOXを設置していますので、リサイクルにご協力ください。なお、回収BOXは今年度中に増設する予定です。

- 回収する使用済小型家電リスト
- ①サイズ 15×25cm以下
- ②種類 携帯電話、デジタルカメラ、CDプレーヤー、リモコン、携帯ゲーム機、テレビゲーム機、電源ケーブルなど
- 回収BOX設置場所 北秋田地域振興局/いとく鷹巣南店/いとく鷹巣ショッピングセンター

ごみの不法投棄は立派な犯罪です

今年も4月15日、29日に各自治会や町内会を中心に、春のクリーンアップ活動が行われました。まちをきれいにするために活動している人がいる一方で、不法投棄を平気で行う人もいるのが現状です。不法投棄物にはビンや缶など、再資源化できるものも多く見られます。限りある資源を有効に使っていくためにも、不法投棄は絶対にやめましょう。
 （悪質な不法投棄事件は警察に引き渡しており、処罰を受けたケースもあります。中には数十万円の罰金刑に処せられたケースもありました）



ごみを減量するための『3R』

ごみを減らすための3つの方法、リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）の頭文字をとって『3R』といいます。これら3Rの中で身近で簡単に出来るものから挑戦してみましょう。

リデュース (Reduce)
 「ごみ」にしない、減らす
 ・ 使い捨てのものは買わない、使わない
 ・ 買い物にはマイバックを持つていく
 ・ 余計な包装は断る、買すぎない
 ・ 長く使えるものを選ぶ

リユース (Reuse)
 「ごみ」にしないで、何度も使う
 ・ 詰め替えて繰り返し使えるものを使う
 ・ 使いたい人に譲る、中古品の活用
 ・ 壊れてもできるだけ直して使う
 ・ ビン等は資源物へ分別する

リサイクル (Recycle)
 「ごみ」を生かす、再資源化する
 ・ ごみと資源物を分別して排出する
 ・ 売っていたお店の回収ボックスへ返す
 ・ 生ごみはたい肥として利用する
 ・ リサイクル製品を購入する

生活課環境班 ☎62-1110

たけのこ採り、行き先告げて、無理せずに

たけのこ採りのシーズンとなりました。県内では昨年、春の山菜採りで45件の遭難事故が発生しており、8人の方が亡くなっています。遭難すると家族へ心配をかけるだけでなく、捜索に多くの人員を要するなど、多大な手間と費用がかかることとなります。（捜索は原則有料です）



【遭難しないための心得】

- ◆入山する場所や駐車場所、帰宅予定時刻を家族へ知らせる
- ◆単独での入山や午後からの入山は避ける
- ◆食べ物、雨具、着替え、時計、ライター、光る物、発煙筒などをもち目立つ服装で入山する
- ◆クマ等の対策として、ラジオ、鈴などで音を鳴らしながら行動する
- ◆迷ったときは歩き回らず、体力の消耗を避けるため、目標物周辺（大木の下や岩陰）で救助を待つ
- ◆迷ったときの通報手段として携帯電話を持つ

生活課地域推進班 ☎62-6628